

## 風しん患者の発生について【注意喚起】

平成 30 年 10 月 4 日（木）、金沢市内の医療機関から風しん患者（30 歳代、男性）の届出がありました。

風しんは、今年の 7 月下旬から関東地方を中心に届出数が増加しており、今後、市内でも患者が増加する可能性がありますので、広く情報提供するとともに、感染の拡大防止のため、注意を喚起するものです。

### 1. 風しん患者発生状況

(人)

	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年※
全国	14,344	319	163	126	93	770
石川県 (金沢市を含む)	26	2	0	1	0	2
金沢市	15	1	0	0	0	1

※全国は9月23日現在、石川県及び金沢市は10月4日現在

### 2. 風しんとは

- 主な症状は、発熱、発疹、リンパ節の腫れなど
- 患者の咳やくしゃみのしぶきにより感染（飛沫感染）
- 潜伏期間（感染者と接触してから症状が出るまでの期間）は 2～3 週間程度
- 感染期間は、発疹が出現する 7 日前から出現後 7 日までの間

### 3. 妊婦や妊娠の可能性のある方へ

- 風しんに対する免疫が不十分な妊娠初期（約 20 週まで）の妊婦が風しんにかかると、出生児に白内障、先天性心疾患、難聴等の症状（先天性風しん症候群）が生じることがあります。
- 妊婦は予防接種が受けられないため、妊娠初期の方は、なるべく人混みに出かけるのを避けましょう。

### 4. 風しんと思われる場合

- 発熱や発しん等の症状から風しんが疑われる場合、必ず事前に医療機関に連絡の上、速やかに受診してください。
- 受診の際は、マスクを着用し、公共交通機関等の利用を避けてください。

### 5. 風しんにかからないために(予防方法)

- 最も効果的な予防方法は、予防接種です。予防接種は 2 回受けましょう。
- 定期接種対象者（1 歳児、小学校入学前の 1 年間）は、確実に予防接種を受けましょう。
- 妊娠を希望される方や妊婦の同居家族（夫、子どもなど）は、かかりつけ医に相談し、抗体検査や任意で予防接種を受けることについて検討ください。
- 30 代から 50 代の男性は、特に風しんの免疫が不十分な世代とされています。この世代の方は、予防接種について検討ください。

### 6. 風しんに関する助成制度

本市では、妊娠を希望する女性（同居者含む）等に対して、委託医療機関において無料の抗体検査を実施しています。また、風しん抗体検査の結果、風しんの予防接種が推奨される方に対し、風しんの任意予防接種費用の一部を助成しています。